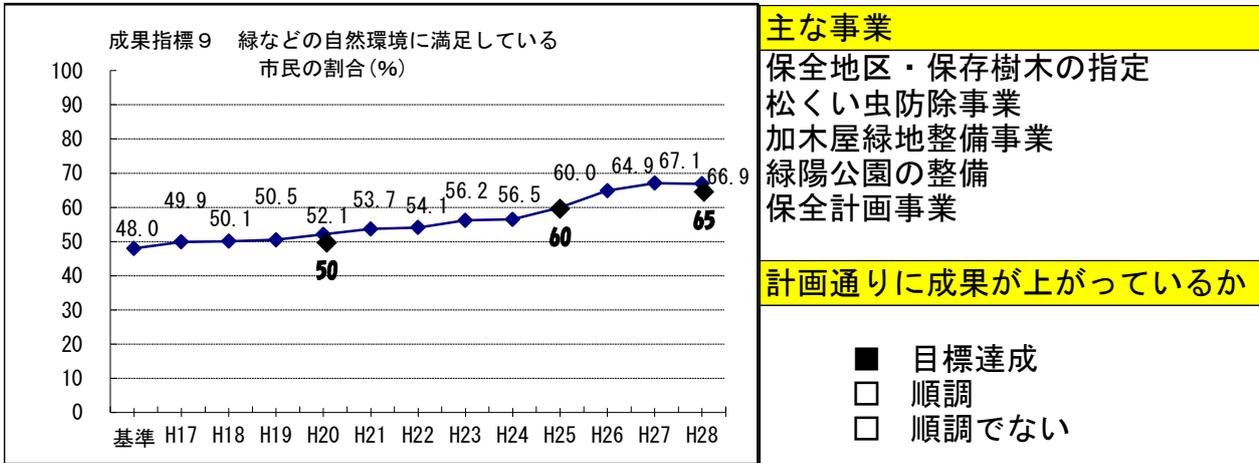


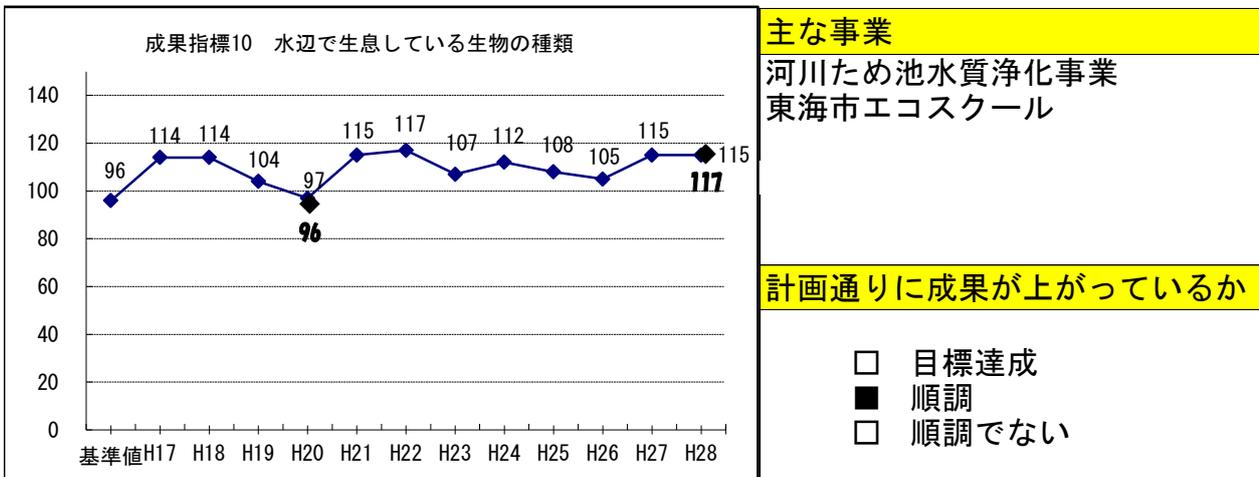
柱	2 生活環境
分野	E 自然
ビジョン	次世代につなげる生命（いのち）ある自然環境の保全



成果指標の分析

平成28年度の緑などの自然環境に満足している市民の割合は、前年度よりも0.2ポイント減少したものの、基準値よりも18.9ポイント増加し、目標値を達成しました。

緑地整備の進展により、改善傾向にあると考えられます。



成果指標の分析

昨年度と比べ全体としては横ばいでした。これは調査の時期や天候等による影響が考えられます。

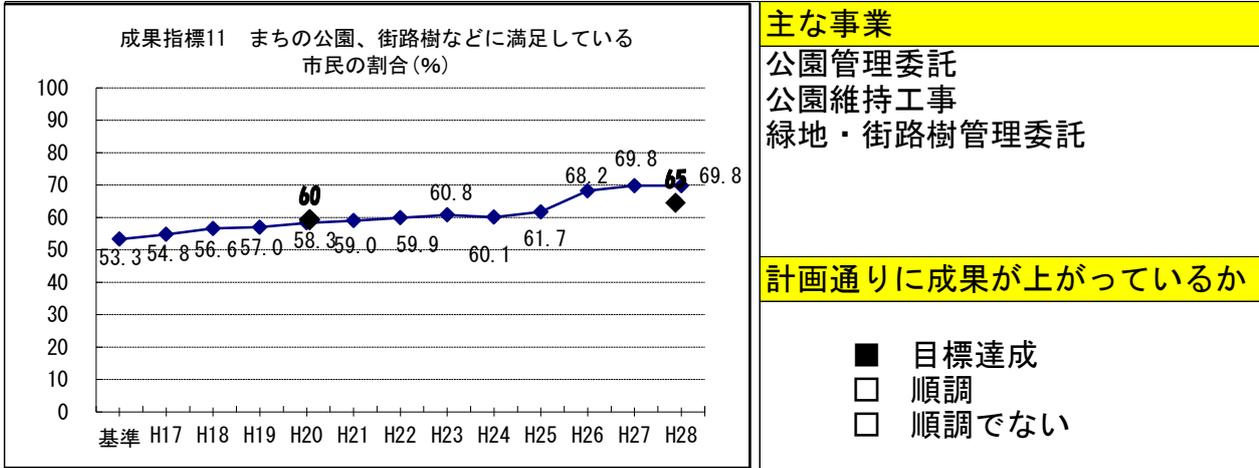
成果が向上する余地（可能性）は？ 大 中 小

第1次東海市環境基本計画を振り返って

生物の種類に大きな変化はないものの、市内の水辺や緑地などには、貴重な水辺の生き物や野鳥などが生息しています。これらの生き物は宅地開発などにより生息空間が失われつつあります。

外来種による生態系への影響も顕在化しているため、生物多様性の保全が重要になっています。

柱	2 生活環境
分野	F 公園・緑地・景観
ビジョン	花と緑あふれる心安らぐまちづくり



成果指標の分析

平成28年度のまちの公園、街路樹などに満足している市民の割合については、横ばいで、基準値よりも16.5ポイントの増加と、順調に増加し目標値を達成しました。

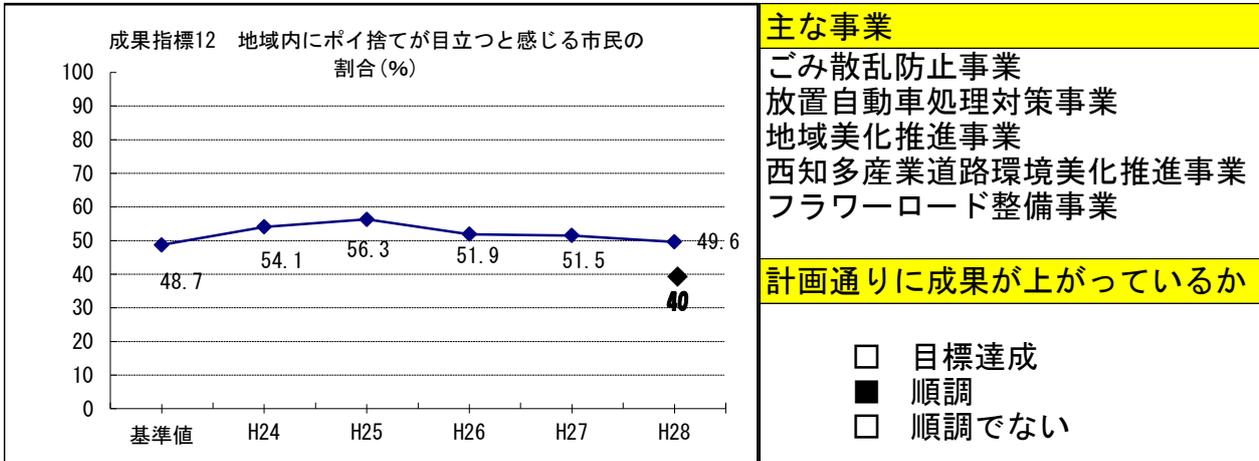
市内公園の管理や緑地の整備の推進が、市民の実感に結びついたものと考えられます。

成果が向上する余地(可能性)は？ 大 中 小

第1次東海市環境基本計画を振り返って

本市には、大小69か所の個性豊かな公園があり、季節の花が咲き誇っています。引き続き、公園や緑地の整備を進めるとともに、宅地開発業者等に緑地の保全・確保に努めてもらう必要があります。

柱	2 生活環境
分野	G 環境美化
ビジョン	道路も公園も自分の庭 めざそうポイ捨てゼロのまち



成果指標の分析

平成28年度は、昨年度よりも1.9ポイント減少し、目標達成には至らなかったものの、不法投棄されたゴミの回収量は年々減っていることから、市民のゴミ問題に対する意識レベルは向上してきているものと考えられます。

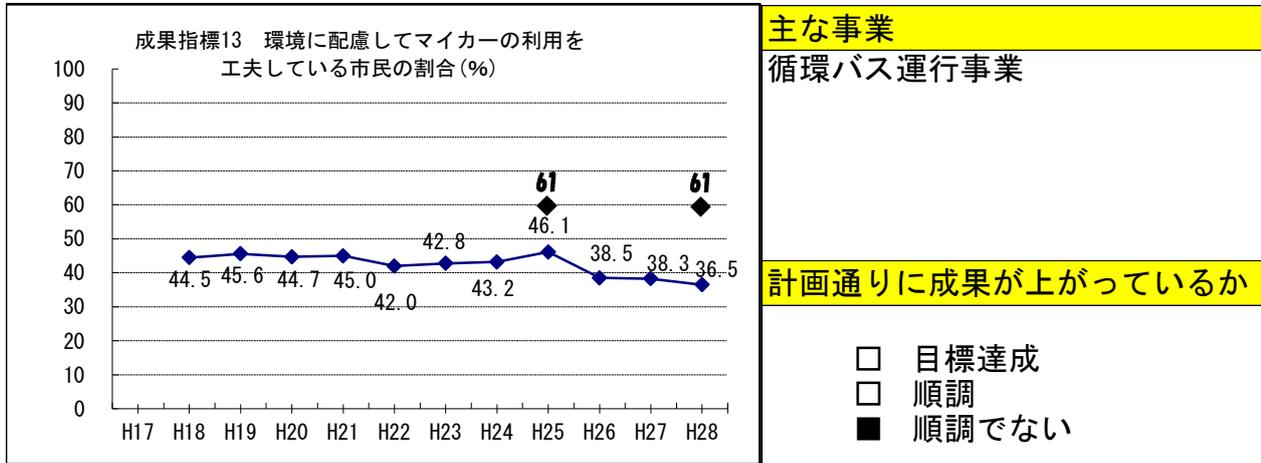
成果が向上する余地(可能性)は？ 大 中 小

第1次東海市環境基本計画を振り返って

不法投棄されたごみの回収量や、地域内にポイ捨てが目立つと感じる市民は減少しており、環境美化への関心は高まりつつあります。

市民の環境美化に対するさらなる意識の向上のため、引き続き、啓発活動や地域美化活動を推進する必要があります。

柱	2 生活環境
分野	H 交通
ビジョン	環境に配慮した安心便利な交通システムの整備



成果指標の分析
 平成28年度は、昨年度と比較すると1.8ポイント減少しました。これは、市民への周知が十分に図られていないためと考えられます。

成果が向上する余地(可能性)は？ 大 中 小

第1次東海市環境基本計画を振り返って
 市民の安心便利な足として循環バス「らんらんバス」を運行しており、利用者は年々増加しています。
 自動車の利用をなるべく控え、環境にやさしい交通手段である公共交通や徒歩・自転車への転換を促すための啓発を行う必要があります。